



JA兵庫みらい

女性会 かべ新聞

女性が元気！地域が元気！

6月号VOL.24

小野連絡協議会

今年度より籐手芸教室がスタート

女性会小野連絡協議会（中川定美会長）は5月9日、JA兵庫みらい小野中央支店3階で第1回目となる籐手芸教室を開きました。会員14人が参加し、オリジナルのかご作りを楽しみました。

この教室は、さまざまな作品にチャレンジして、さらに女性会を活気づけようと今年度より新しく開講されました。今後は、毎月1回いろいろな材料を使ってかごやランプシェードなどの手芸品を作り、自然素材の魅力を楽しんでいきます。

この日は、西脇市在住の吉川恵美子先生を講師に招き、籐を使ったかご作り挑戦しました。吉川先生からの「初めての作業だと思いが、焦らず楽しんでやろう」というアドバイスを参考に、参加者は長くて丈夫な籐の扱いに戸惑いながらも順調に編んでいき、約2



オリジナルのかごが完成！

時間後にオリジナルのかごが完成しました。松井政子さんは「初めてだったけど、簡単に楽しくできました。果物や小物入れに利用したいです」と笑顔で話していました。次回はつるを使ったランプシェードにチャレンジする予定です。

JA兵庫みらい女性大学が開校 入学式・プランター栽培講座が行われました



JA兵庫みらいは5月18日、今年度より新たに開校する女性大学の入学式を同JA本店で行いました。管内の女性60人が入学しました。

女性大学は、ひまわり（フレッシュユコス）とすみれ（エンジョイコース）の2コースがあり、いずれも同JAや同JA女性会が、元気な地域づくりと仲間づくりを目指して、文化や福祉などの生活に関わるさまざまな分野について楽しく学んでもらおうと開校しました。「食と農」や「健康と美容」などをテーマに、年間計10回のカリキュラムを予定しています。

入学式では、同大学の学長を務める後藤健次郎代表理事組合長が「この大学でいろいろなスキルを磨き、受講生同士交流を深めながら多くの仲間をつくって下さい」と呼びかけました。

JA兵庫みらい女性大学 入学式



また、同JA営農部の藤原一美部長は、同大学の年間計画や内容について説明しました。受講生に同JAをより深く理解してもらうため、各事業や特産品なども紹介しました。

閉会後には、第1回目のプランター栽培講座が行われました。同JA営農部営農振興課の大塚加代子さんより作業工程やポイントの説明を聞いた後、受講生らは互いに協力しながらプランターに土を入れ、ミニチンゲンサイ「シャオパオ」の種をまいていきました。また、今回の講座に反映するため、アンケートも実施しました。

受講生は「プランター栽培は初めてだったけど、思っていたよりも手軽にできました。きちんと世話して、自分で育てた野菜を収穫したいです。これからいろんな講座もあるので楽しみです」と笑顔で話していました。

三木連絡協議会

晩ご飯のプラス一品に



女性会三木連絡協議会の料理教室（岡本美知子代表）は5月25日、JA兵庫みらい女性会の多目的室内にある調理室で第1回目となる料理教室を開きました。会員11人が参加し、季節の野菜を使った料理を作りました。

この教室は、季節の野菜を有効に使い、晩ご飯にプラス一品出来るようなメニューにチャレンジしようと、今年度より新しく開講されました。

この日は、成瀬恵子さんを講師に招き、かつおのおぼろごはんや女性会の手造り味噌を使ったごま風味のみそ汁、イチゴのムースなど6品を作りました。会員らは2班に分かれて、互いに役割を確認しながらてきぱきと調理を進めていき、約1時間ですべての料理が完成しました。

参加者は「普段こんなに野菜を使わないから、大変参考になりました。身近な材料で手早く料理できて良かったです。みんな美味しかったので次回も楽しみです」と笑顔で話していました。次回は夏野菜を使った一品料理にチャレンジする予定です。

